

2025年4月25日
双日プラネット株式会社

**双日プラネット、一般社団法人低炭素投資促進機構の
「脱炭素成長型経済構造移行推進対策費補助金」に採択
～医薬錠剤包装の単一素材化などを通じ、水平リサイクルを促進する実証実験を開始～**

双日株式会社の合成樹脂事業子会社・双日プラネット株式会社（以下「双日プラネット」、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：武智彰久）は、2025年3月24日に、一般社団法人低炭素投資促進機構の「脱炭素成長型経済構造移行推進対策費補助金」（産官学連携による自律型資源循環システム強靱化促進事業、事業期間：2025年3月～2027年2月）の対象事業者に採択されました。4月より、プラスチックを主体とした医薬錠剤包装の一種であるPTP（Press Through Package）シートの単一素材化（モノマテリアル）などを通じて、水平リサイクルを促進する実証実験を開始します。

同補助金は、自動車・バッテリー、電気電子製品、包装、プラスチック、繊維などについて、長寿命化や再資源化の容易性の確保などに資する「循環配慮型ものづくり」のための技術開発、実証および商用化にかかる設備投資などを支援するものです。

双日プラネットは、環境対応型樹脂の販売に注力する一方で、20年以上にわたりPTP事業を手掛けています。国内PTP市場は約1万8,000トン/年（当社調べ）に上りますが、現状、採用されているPTPは異素材で構成（プラスチック＋アルミ箔）されており、プラスチック単体でないためにリサイクルが難しく、その多くが廃棄されています。そこで、双日プラネットは、製薬業界の環境意識の高まりを背景に2023年9月に、PTP資源循環協議会を発足させ、国内の主要製薬メーカー19社とともに、環境配慮型のPTPの在り方について検討を進めてきました。

実証実験では、3つの取り組みを実施予定です。総事業費用は最大で約10億円を見込んでおり、その3分の1の助成を受ける予定です。

- (1) 製薬会社の製造工程で発生する、PTP製造用樹脂シートの廃プラスチックを産業廃棄物として処理せず回収し、再生利用します
- (2) PTPの上下両側ともPP樹脂を用いたETIMEX Primary Packaging GmbH社製モノマテリアルPTPを普及することで、リサイクル性の向上を図ります

(3) (1)で回収した廃プラスチックをケミカルリサイクルにより再び PTP 用途に用います

双日プラネットは、早期に商業ベースに乗せることで、製品代替の進みにくい製薬業界において、持続可能な循環型環境負荷低減モデルを実現させるよう、取り組んでいきます。

【双日プラネットの概要】

会社名	双日プラネット株式会社
設立	2004年1月1日
所在地	〒100-8691 東京都千代田区内幸町2丁目1-1 飯野ビルディング 8F
出資比率	双日株式会社 100%
代表電話番号	03 - 6871 - 3000
代表者	代表取締役社長 武智 彰久
担当部署	高機能パッケージング BU 第2課 (在・大阪)
主な事業内容	OA・家電・自動車・住設分野等での各種合成樹脂の販売・輸出入 包装分野での包装資材及び合成樹脂の販売・輸出入 電子材料向け高機能原料・電子部品販売・輸出入、電子機器受託生産(EMS) 成形加工機械・包装機械の販売・輸出入 合成樹脂関連事業への事業投資